

平成28年 11月 2日 (水)



杜の子ども会
& 食育プロジェクト
～焼き芋・干し柿～

次回は食育プロジェクト「みかん」
11月18日(金)です!



あかグループ

今回は焼き芋作りと干し柿作りをしました。
年中組に「これは能勢でとったいもです」「スコップで周りを掘ってとった」と芋の説明をしてもらった後、濡れ新聞紙とアルミホイルで芋を巻きました。

干し柿作りでは年長、年中児が中心になってピローラで皮剥きを進めていきました。乳児は上の学年の子どもの仕事振りを見たり柿や芋に興味を持ち角虫をみたりしていました。

その後園庭に出て薪を組み火を付けて芋を入れました。「もんえろよもんえろ〜よ」と歌を唄ったり「美味しくなあれ」と言い、焼き芋が出来上がるのを楽しみにしていました。待つ時間になべなべそこぬけをした後、出来上がった焼き芋を見て「わあ」「美味しい」と大興奮の子どもたち。「めっちゃ美味しい」「おかわりしていい?」と喜んで食べていました。

足立



青グループ

今回の活動は、干し柿と焼き芋という事で、まず子どもたちに「干し柿、って何のこと?」と聞くと、「星の形をした柿?」「星を見ながら食べる柿!」と思いついたことをたくさん答えてくれました。写真などを見ながら、干し柿について伝えると、少しづつ今までの経験を出していました。



焼き芋では、サツマイモをどうやって取って、どうやって焼くか、年長、年中さんへ聞くと「スコップで掘って、芋を見つけてたおん!」と答えてくれました。そして、いざ実践!

焼き芋 さつまいもに、ぬらした新聞紙をかぶせ、アルミホイルで巻きます。「こゆーいい?」「こゆーどうする?ぬらすわん!!」と子どもたち同士声をかけ合いながら焼き、たき火の中へ。大きな火には、「ほいほい」「もんえろもんえろ」と年長さんが歌い始め、みんなで歌いました。みんな火を囲んで「あぶくた、た」として後に、焼き芋を石確認してみると、食べ頃!!「早く食べたーい」「外の食べたーい」ということで、お揃い場所へ。テーブルを囲んで手や包丁で焼き芋を割ると、「わ」と驚きと嬉しみの声の子どもたちの笑顔と一緒に出てきました。

干し柿 部屋に戻り、しぼ柿の皮をピローラでむく際、年長さん、年中さんは、一人で。年少さん、乳児さんは、保育者と一緒に皮むきをしました。「しぼ柿、ってどんな味?」と聞くので「一度試してみよう」と言っしぼ柿の皮をむくと、「わん!さながらする」「甘い!」と言っていました。みんな順番交代で、皮むきの体験をし、何人かの子は、しぼ柿の味も知って、色々な体験が出来ました!! 自然と異年齢で関わる姿や、手伝う姿などが見られた活動となりました!!

桶村



黄緑グループ

今回の活動は、焼き芋と干し柿作りをしました。まずは、焼き芋作りからしました。薪の割り方を石塚先生に教えてもらい、グループの組分けで薪割りが出来るグループだけ薪がもらえるというルールで先生達が順番に挑戦しました。子ども達は「頑張れ!」と応援したり「それ危ない!」と先生達の薪割りの姿を見てやり方を学んでいました。

無事薪がもらえる「井型」にすんねんと、教えてもらった火の付きや置き方で薪を並べていました。その後は、焚き火を囲んであぶくた、たをして遊びました。初めての子どもたちは少し戸惑い子もいましたが、何度も繰り返すとだんだん楽しくなり「もう一回!」と子どもから声がかかりました。輪には、みんなでお揃い遊びで一体感が生まれました。部屋に戻ると干し柿作りをしました。当番グループ3グループに分かれて1グループ毎に協力して取組みました。年上の子が「こ持、こいあけ」からやり始め、年下の子達に声をかける姿も見られました。昼食前焼き上がったあぶくたを食べて「ほいほい」と言ながら食べています。今後も、協力しながらみんなで楽しむ黄緑グループの活動を考えていきたいと思います。

岩崎



焚き火を囲んで伝承あぶくたを食しました。

年長さんが火を付けました。

